

～センター直前最終確認☆2014年センター対策 sentence(1000点文章)～

【西洋史】

§1:ギリシア世界

1. 古代ギリシアでは三段櫂船が軍船として用いられた。
2. 前8世紀には、ギリシア各地にポリスが形成されるようになった。
3. アテネでは、ソロンが債務を負った市民が奴隷となることを防ぐ改革を行った。
4. ペイシストラトスは、護衛兵を利用して僭主政治を打ち立てた。
5. 前5世紀に、ギリシアの諸ポリスはアケメネス朝ペルシアと戦った。
6. ギリシア人は、異民族をバルバロイ(聞き苦しい、訳の分からない言葉話す者)と呼んだ。
7. アテネのドラコンが、成文法を定めた。

§2:ヘレニズム時代

8. 前4世紀に、マケドニアはギリシアの諸ポリスを支配した。
9. バクトリアは、セレウコス朝から自立したギリシア人が建国した。

§3:共和政ローマ

10. 前5世紀に、十二表法と呼ばれる成文法が制定された。
11. ホルテンシウス法により、平民会の決議が、元老院の承認なく国法とされた。
12. 三度のポエニ戦争の結果、カルタゴはローマに滅ぼされた。
13. ポエニ戦争後、重装歩兵として従軍した中小農民層は疲弊し、没落した。
14. グラックス兄弟は、大地主の土地所有を抑制する政策を採ろうとして失敗した。
15. 内乱の1世紀の時代に、スパルタクスの率いる奴隷反乱が起こった。
16. カエサルは、ポンペイウス、クラッスと共に第1回三頭政治を始めた。
17. オクタヴィアヌスが、アクティウムの海戦で勝利した。
18. 共和政末期から帝政初期には大量の奴隷を使役したラティフンディアが盛んであった。

§4:帝政ローマ

19. ネルヴァ帝から始まる5人の皇帝の治世は、五賢帝の時代と呼ばれる。
20. ローマ帝国はササン朝ペルシアと戦った。
21. ディオクレティアヌス帝から専制君主政が始まった。
22. コンスタンティヌス帝はコンスタンティノープルへ遷都した。
23. コロヌスに土地を貸す小作制がしだいに広まっていった。
24. ディオクレティアヌス帝は、キリスト教を迫害した。

§5:キリスト教の成立

25. ミラノ勅令でキリスト教は公認された。
26. ニケーア公会議でアタナシウス派が正統とされた。
27. キリスト教はテオドシウス帝によって国教とされた。
28. 古代ローマのカタコンベは、キリスト教徒の礼拝の場ともなった。

§6:ゲルマン人大移動

該当なし

§7:フランク王国の盛衰

29. クローヴィスが、アタナシウス派(カトリック)に改宗した。

30. 751年に、ピピンが王位につき、カロリング朝を開いた。
31. カール大帝(シャルルマーニュ)がランゴバルド王国を滅ぼした。
32. カール大帝はアルクインらを集め、学芸を奨励した。
33. 教皇レオ3世が、カール大帝(シャルルマーニュ)に皇帝の冠を授けた。
34. オットー1世は、マジャール人を撃退した。
35. オットー1世がローマ皇帝位を授けられ、神聖ローマ帝国が成立した。

§ 8:ノルマン人大移動

36. ロコの率いるノルマン人の一派が、北仏にノルマンディー公国を建てた。
37. クヌート(カヌート)は、11世紀にイングランドを征服した。
38. 9世紀末、キエフ公国が建国された。
39. ノルマン人の原住地は、スカンディナヴィア半島やバルト海沿岸である。
40. ノルマンディー公ウィリアムが、イングランドにノルマン朝を開いた。

§ 9:ローマ:カトリックの盛衰

41. 6世紀にベネディクトゥスは、モンテ=カッシーノに修道院を建てた。
42. 10世紀以降、クリュニー修道院を中心とする教会改革運動が起こった。
43. 1054年に、ギリシア正教会はローマ=カトリック教会と分裂した。
44. 1077年、叙任権闘争で教皇グレゴリウス7世が、神聖ローマ皇帝ハインリヒ4世を破門した。
45. クレルモン教会会議(公会議)において、十字軍が提唱された。
46. 十字軍はセルジューク朝の小アジア進出がきっかけとなった。
47. インノケンティウス3世が提唱した第4回十字軍はコンスタンティノープルを占領し、ラテン帝国を建設した。
48. フランス国王フィリップ4世は教皇ボニファティウス8世と対立し、教皇を捕らえた。
49. 14世紀に、教皇庁が、アヴィニョンに移された。
50. コンスタンツ公会議で、ウイクリフとフスが異端とされた。
51. 教会大分裂は15世紀前半のコンスタンツ公会議で一応の決着を見た。
52. ベーメン(ボヘミア)で、フスが処刑されたことから、フス戦争が起こった。

§ 10:封建社会の盛衰

53. 11・12世紀の西欧では、三圃制農法や鉄製(重量)有輪犁の普及によって、農業生産が増加した。
54. ヨーロッパで火砲の使用が広まった結果、騎士が没落した。
55. 黒死病(ペスト)の流行が、14世紀に農業人口を激減させた。
56. フランスでは、14世紀にジャックリーの乱が起こった。
57. イギリスでは、14世紀にワット=タイラーの乱でジョン=ボールが農民一揆の思想的指導者となった。

§ 11:中世都市とギルド

58. イタリア商人は、地中海の東方貿易において重要な役割を果たした。
59. 中世のシャンパーニュ地方では、大規模な定期市が開かれた。
60. ハンザ同盟は、リューベックを盟主とした。
61. 北イタリアの諸都市は、ロンバルディア同盟を結んで神聖ローマ帝国と争った。
62. 商人ギルドは、生産・流通を統制し、自由競争を妨げた。
63. フィレンツェは、毛織物業が盛んで、富を蓄積した。
64. アウクスブルクでは、フッガー家の庇護の下、繁栄した。

§ 12:東欧諸民族の動向

65. 14世紀に、リトアニアとポーランドが合同し、ヤゲウォ朝が成立した。

66. ヤゲウォ(ヤゲロー)朝断絶後, 選挙王制(選挙王政)となった。
67. ロシアは, 15 世紀にモスクワ大公国のイヴァン 3 世の治世下でモンゴル支配から脱した。
68. エルベ川以東の東欧の農場領主制(グーツヘルシャフト)では, 西欧へ輸出する穀物が生産された。
69. セルビア人は, バルカン半島に定住後, ギリシア正教会を受容した。
70. ブルガール人は, ギリシア正教を受容した。

§ 13:東ローマ(ビザンツ)帝国史

71. ユスティニアヌス 1 世の時代に, 『ローマ法大全』が編集された。
72. ユスティニアヌス 1 世は聖ソフィア(ハギア=ソフィア)聖堂を建設した。
73. ユスティニアヌス 1 世は北アフリカのヴァンダル王国を滅ぼした。
74. ユスティニアヌス 1 世は, ビザンツ帝国に養蚕業導入し, 絹織物業を興した。
75. アカデメイアは, ユスティニアヌス 1 世によって異境の温床として閉鎖された。
76. ヘラクレイオス 1 世の時代に, テマ制(軍管区制)の下で屯田兵制が行われた。
77. レオン 3 世は聖像禁止令を出した。
78. ビザンツ帝国では, 皇帝がギリシア正教会を支配下に置いた。
79. キエフ公ウラディミル 1 世は, ギリシア正教を国教とした。

§ 14:西欧中世国家の動向

80. イギリスでは, 12 世紀にプランタジネット朝が開かれた。
81. ジョン王が, マグナ=カルタ(大憲章)を承認した。
82. フランス国王フィリップ 2 世はジョン王と争い, フランス国内のイギリス領の大部分を奪った。
83. フランス国王ルイ 9 世はアルビジョワ派(カタリ派)を平定した。
84. フランス・カペー朝のフィリップ 4 世は聖職者・貴族・平民の代表からなる三部会を召集した。
85. 百年戦争の争点の一つは, イギリスが羊毛を輸出していたフランドル地方の支配権争いだった。
86. 百年戦争で, エドワード黒太子が率いる長弓隊(弓兵)が活躍した。
87. 百年戦争で, ジャンヌ=ダルクがオルレアンの包囲を破った。
88. 百年戦争の結果, イギリス王は, カレー以外の大陸の所領を失った。
89. フランス王シャルル 7 世のとき, 百年戦争は終結した。
90. フランス国王シャルル 8 世がイタリア戦争を起こした。
91. イタリア戦争では, フランソワ 1 世が, 神聖ローマ皇帝カール 5 世と対立した。
92. ポルトガルは, 12 世紀にカスティーリヤ王国から独立した。
93. イベリア半島東部にアラゴン王国が建国された。
94. イベリア半島では, スペインが 15 世紀末にナスル朝の首都グラナダを占領した。
95. 北欧では, 14 世紀末にカルマル同盟が結ばれた。
96. 14 世紀に皇帝カール 4 世は, 金印勅書を発布した。
97. ドイツ騎士団が東方植民を行った。

§ 15:大航海時代

98. メキシコの先住民は, 馬などの大型動物は使用していなかった。
99. メキシコ高原では, テオティワカン文明が栄えた。
100. メキシコ高原では, アステカ帝国の都テノチティランが建設された。
101. ユカタン半島では, マヤ文字を用いるマヤ文明が発展した。
102. インカ文明では, 鉄器は使用されていなかった。
103. インカ帝国では, 文字がないかわりに数などを示すためにキープ(結縄)が使用された。
104. クスコを都とするインカ帝国は, ピサロによって滅ぼされた。
105. マチュ=ピチュ遺跡は, インカ帝国で造営された。

106. エンリケ航海王子は、西アフリカ沿岸における探検を推進した。
107. ヴァスコ＝ダ＝ガマが、喜望峰を経由してインドへ向かった。
108. コロンブスは、スペインのイサベル女王の後援を受け、西インド諸島のサン＝サルバドル島に到達した。
109. トルデシリャス条約の結果、カリブ海地域やアメリカ大陸はスペイン領になったが、ブラジルのみポルトガル領になった。
110. アメリゴ＝ヴェスプッチは、南アメリカ大陸沿岸を探検し、ここが「新世界」であると報告した。
111. カブラルがブラジルに漂着し、そこをポルトガル領と宣言した。
112. マゼラン(マガリャンイス)は、太平洋を横断する際に、フィリピンで殺害された。
113. 南米のスペイン植民地で、ポトシ銀山が開発された。
114. アメリカ大陸からの銀の流入などによって、ヨーロッパで価格革命が起こった。
115. 18世紀の大西洋では、西ヨーロッパから衣類や武器を輸出して西アフリカにおいて黒人奴隷と交換し、これを西インド諸島の植民地などに運び、砂糖などをヨーロッパに送る三角貿易が行われていた。
116. ラス＝カサスは、スペイン人による先住民の酷使を批判した。
117. 東南アジアの交易では、中国商人のジャンク船が使用された。
118. インド洋の交易では、イスラーム商人のダウ船が使用された。

§ 16:宗教改革

119. レオ 10 世は、贖宥状の販売を始めた。
120. 16 世紀前半、マルティン＝ルターは、「95 か条の論題(意見書)」を発表した。
121. ルターは、ザクセン選帝侯フリードリヒの保護の下で、『新約聖書』をドイツ語に翻訳した。
122. 16 世紀に、農奴制の廃止などを求める農民たちがドイツ農民戦争を起こした。
123. ドイツでは、ルター派諸侯・都市により、シュマルカルデン同盟が結成された。
124. 16 世紀にイギリスのヘンリ 8 世は、首長法を発布し、修道院の解散を命じた。
125. イギリスではエリザベス 1 世が、統一法を発布し、イギリス国教会が確立された。
126. スペイン人のイグナティウス＝ロヨラによって、イエズス会が創設された。
127. 16 世紀に、フランシスコ＝ザビエルが日本にキリスト教を伝えた。

§ 17:西欧の絶対王政

128. スペイン国王フェリペ 2 世は、ポルトガル王を兼ねた。
129. ヴァロワ朝の摂政カトリーヌは、サン＝バルテルミの虐殺によりユグノーを弾圧した。
130. 16 世紀後半、アンリ 4 世は、ブルボン朝を開いた。
131. ルイ 13 世は、宰相リシュリューを登用して、三部会を停止した。
132. ルイ 14 世の下で、ナントの勅令が廃止された。
133. ベーメン(ボヘミア)の新教徒が、ハプスブルク家に対して反乱を起こした。
134. 17 世紀にスウェーデン王グスタフ＝アドルフが、三十年戦争に参戦した。
135. 三十年戦争終結時に結ばれたウェストファリア条約により、神聖ローマ皇帝の権力は制限され、帝国内の諸領邦(諸侯)の主権が確認された。

§ 18:イギリス革命と立憲政治の確立

136. ステュアート朝のジェームズ 1 世は、王権神授説を唱えた。
137. 議会在が権利の請願をチャールズ 1 世に提出した。
138. ピューリタン革命(清教徒革命)では、チャールズ 1 世が処刑された。
139. クロムウェルは、アイルランドを征服した。
140. クロムウェルは、航海法によってオランダに打撃を与えようとした。
141. イギリス議会は、不当な逮捕や投獄を禁止する人身保護法を制定した。
142. ジョージ 1 世が、ハノーヴァー朝の国王として即位した。

143. ホイッグ党のウォルポール首相の時代に、責任内閣制が確立した。

§ 19:東欧絶対王政

144. プロイセンでは、フリードリヒ 2 世が啓蒙思想に基づいた改革を行った。

145. マリア＝テレジアは、フランスと同盟する外交革命を実現した。

146. マリア＝テレジアは、七年戦争の結果、シレジアを奪回できなかった。

147. イヴァン 4 世の治世下で、イェルマークのシベリア遠征が行われた。

148. ミハイル＝ロマノフはロマノフ朝を開いた。

149. 17 世紀のロシアでステンカ＝ラージンの農民反乱が起こった。

150. ピョートル 1 世時代に、ネルチンスク条約によってスタノヴォイ山脈を清との国境にした。

151. ロシアでは、北方戦争中にピョートル 1 世によってペテルブルク(サンクト＝ペテルブルク)が建設された。

152. ロシアでは、エカチェリーナ 2 世の治世下でプガチョフの乱が起こった。

153. エカチェリーナ 2 世は、オーストリア・プロイセンとともに、ポーランド分割に加わった。

154. エカチェリーナ 2 世は、ポーランド分割の際に、コシューシコ(コシチューシコ)の義勇軍を鎮圧した。

§ 20:西欧列強の植民活動

155. 1510 年にポルトガルはゴアを占領した。

156. 16 世紀初めに、ポルトガルがセイロン島のコロomboを占領して拠点を築いたが、17 世紀にオランダに奪われた。

157. 17 世紀初めに、オランダはバタヴィアに根拠地を置いた。

158. 1623 年に、オランダはアンボyna事件を起こし、ポルトガル・イギリスを東南アジアから追い出した。

159. 17 世紀、マドラスとカルカッタ(コルカタ)がイギリス東インド会社の拠点となった。

160. 17 世紀、フランスはボンディシェリを獲得した。

161. 17 世紀初めに、イギリスは北アメリカで最初の植民地としてヴァージニア植民地を建設した。

162. 17 世紀初めに、フランスはケベックを中心にカナダ植民地を建設した。

163. スペイン継承戦争の結果、ユトレヒト条約が結ばれた。

164. オーストリア継承戦争が行われた時期に、アメリカではジョージ王戦争が起こった。

165. ヨーロッパで七年戦争が行われた時期に、インドではブラッシーの戦いが起こった。

166. 七年戦争の結果、ミシシッピ川以東のルイジアナとカナダはフランス領からイギリス領となった。

§ 21:アメリカ独立革命と合衆国成立

167. 17 世紀前半に、イギリスのピューリタン一団が、メイフラワー号で北アメリカに移住して植民地を建設した。

168. 18 世紀後半に、茶法に基づくイギリス東インド会社の茶販売をめぐり、ボストン茶会事件が起こった。

169. ワシントンが 13 植民地の軍の総司令官に任命された。

170. トマス＝ペインが著した『コモン＝センス』が出版されると、アメリカの独立気運が強まった。

171. フランスはアメリカ独立戦争に参戦した。

172. 武装中立同盟によりイギリスは孤立した。

173. ヨークタウンの戦いでイギリス軍は敗北した。

174. パリ条約で、北アメリカの 13 植民地は、イギリスからの独立を承認された。

175. イギリスはアメリカ合衆国の独立を認め、ミシシッピ川以東の領地を譲渡した。

176. 独立戦争後、フィラデルフィアでアメリカ合衆国憲法が制定された。

177. アメリカ合衆国憲法は、三権分立の考え方や連邦主義を採用した。

§ 22:フランス革命(1789～1799)

178. ルイ 16 世の下で、テュルゴーが財政改革を試みた。

179. フランスでは、バスティーユ牢獄への襲撃が起こった後に、人権宣言が採択された。

180. シェイエスは、『第三身分とは何か』を著した。

181. フランス革命では、下層労働者がサンキュロットと呼ばれた。
182. 立法議会は、オーストリアに宣戦を布告し、革命戦争を開始した。
183. 国民公会は、革命暦(共和暦)を制定した。
184. 国民公会は、国王を処刑し、王政の廃止と共和政を宣言した。
185. ジャコバン派は、ロベスピエールが指導者であった。
186. 総裁政府時代に、ナポレオン=ボナパルトがエジプトに遠征した。
187. 総裁政府は、ブリュメール 18 日のクーデタによって倒された。

§ 23:ナポレオン時代

188. フランスは、トラファルガーの海戦で敗北した。
189. アウステルリッツの戦いで、ロシアはフランスに敗れた。
190. ナポレオンは、イギリスを経済的に孤立させるために、大陸封鎖令を出した。
191. ナポレオン 1 世は、プロイセンとティルジット条約を結んだ。
192. プロイセンでは、シュタインとハルデンベルクによって農奴解放などの近代化が推進された。
193. スペインでは、フランスの支配に対する抵抗運動が起こり、フランス軍はゲリラ戦に苦しんだ。
194. ナポレオン 1 世は、ライプツィヒの戦いに敗北し、エルバ島に流された。

§ 24:ウィーン体制の成立と動揺

195. ウィーン議定書により、ケープ植民地とスリランカ(セイロン島)はオランダからイギリスの領土となった。
196. ウィーン議定書において、スイスは永世中立国となった。
197. アレクサンドル 1 世が、神聖同盟を提唱した。
198. フランスは五国同盟に加盟した。
199. ウィーン体制下のドイツでは、学生によって自由と統一を求めるブルシエンシャフトが結成された。
200. ウィーン体制下のイタリアで、カルボナリが結成された。
201. ニコライ 1 世の治世下で、デカブリストの反乱が起こった。
202. ハイチ(ハイティ)は、フランスから独立した。
203. シモン=ボリバルは大コロンビアを独立させた。
204. 1822 年にブラジルはポルトガルから帝国として独立した。
205. ギリシア独立戦争で、ロシアはイギリス・フランスとともに、オスマン帝国からのギリシア独立を支援した。

§ 25:ウィーン体制の崩壊

206. 七月革命でブルボン復古王政が倒された。
207. 七月革命の影響で、ベルギーがオランダから独立した。
208. フランスでは、1848 年に第二共和政が成立した。
209. フランスの二月革命で成立した臨時政府では、国立作業場が設置された。
210. 三月暴動の影響で、フランクフルト国民議会が開催された。
211. コシュート(コッシュート)は、ハンガリーのオーストリアからの独立を目指した。
212. 二月革命の影響で、マツィーニがローマ共和国を建てた。

§ 26:自由主義のイギリス(世界の工場)

213. イギリスは穀物法によって、輸入穀物に対し、高関税を課した。
214. コブデンとブライトは、穀物法の廃止を主張した。
215. イギリス東インド会社は 1833 年に中国貿易独占権を廃止し、インド統治機関となった。
216. イギリスでは、1833 年に一般工場法が制定された。
217. イギリスでは、審査法が廃止されて、非国教徒が公職に就く道が開かれた。
218. アイルランドでは、1840 年代に飢饉が発生し、海外への移民が増大した。

- 219. イギリスでは、19 世紀、保守党と自由党が交互に政権を担当した。
- 220. グラッドストーン内閣のもと、労働組合の合法化・教育法の制定が行われた。
- 221. ロンドンで、第 1 回万国博覧会が開催された。
- 222. 第 1 回選挙法改正のあとに、チャーティスト運動が起きた。
- 223. イギリスでは、第 2 回選挙法改正によって都市労働者などが、第 3 回選挙法改正によって農業労働者などが選挙権を得た。

§ 27:独裁から共和制へのフランス

- 224. 第二帝政期に、フランスはメキシコに出兵した。
- 225. フランスでは、普仏戦争(プロイセン＝フランス戦争)の敗北後、第三共和政が成立した。
- 226. フランスの第三共和政でドイツとの講和に反発したパリ＝コミューンは鎮圧された。
- 227. フランス第三共和政下で、ユダヤ人軍人に対する冤罪事件であるドレフュス事件が起こった。

§ 28:19 世紀ドイツ統一の流れ

- 228. ドイツでは、1834 年にプロイセンを中心に関税同盟が発足した。
- 229. ベルリン三月革命後のフランクフルト国民議会の決議によって、ドイツ統一が話し合われたが失敗した。
- 230. ドイツ帝国成立の過程で、プロイセンはまずシュレスヴィヒ・ホルシュタインをめぐるデンマークとの間で戦争を起こした。
- 231. プロイセンはオーストリアを敵として戦った後、これを排除する形で北ドイツ連邦を成立させると、最後にフランスを破ってドイツ帝国を成立させた。
- 232. 普仏戦争(プロイセン＝フランス戦争)を戦ったヴィルヘルム 1 世は、ヴェルサイユ宮殿でドイツ皇帝としての即位式を行った。
- 233. アルザス・ロレーヌは、普仏戦争の結果、ドイツ帝国領となった。
- 234. ドイツ帝国では、男性普通選挙制による帝国議会が置かれた。
- 235. ビスマルクは、社会主義者と対立する一方で労働者の社会保険(社会保障)制度を整備した。
- 236. ビスマルクの失脚後、社会主義者鎮圧法が廃止された。
- 237. ビスマルクは、カトリック勢力に対する文化闘争を展開させた。

§ 29:19 世紀ロシアの南下政策

- 238. ロシアは、パン＝スラヴ主義を掲げて、南下政策を進めた。
- 239. ニコライ 1 世は、クリミア戦争を開始した。皇帝アレクサンドル 2 世は、クリミア戦争に敗北した後、農奴解放令を発布した。
- 240. ロシアで、「ヴ＝ナロード(人民の中へ)」を標語とする運動が起こった。
- 241. ビスマルクを仲介者として開かれたベルリン会議でオーストリアはボスニア＝ヘルツェゴヴィナの統治権を、イギリスはキプロス島の統治権を獲得した。
- 242. 1891 年にシベリア鉄道が着工した。

§ 30:19 世紀イタリアの統一

- 243. サルデーニャ王国がイタリア統一を主導した。
- 244. サルデーニャ王国は、フランスの協力を得て、オーストリアと戦った。
- 245. ガリバルディが、赤シャツ隊(千人隊)を率いた。
- 246. ヴィットーリオ＝エマヌエーレ 2 世が初代イタリア国王となった。

§ 31:19 世紀アメリカ

- 247. 1803 年、アメリカはフランスよりミシシッピ川以西のルイジアナを獲得した。
- 248. 1812 年にアメリカ＝イギリス戦争(米英戦争)がおこった。

249. 1823 年 12 月, ヨーロッパとアメリカ大陸との相互不干渉などの外交方針を発表した。これがモンロー宣言と言われている。
250. 1830 年先住民であるインディアンが迫害され, 強制的に移住させられた。
251. アメリカ合衆国では, 西部開拓を進める際に, 「マニフェスト=ディスティニー (明白な天命)」が主張された。
252. カリフォルニアは, アメリカ=メキシコ戦争の結果, アメリカ領となった。
253. 1848 年にアメリカ合衆国西部のカリフォルニアで金鉱が発見され, ゴールド=ラッシュが起こった。
254. 19 世紀のアメリカでは, 黒人奴隷が使用される綿花プランテーションが拡大した。
255. 民主党は南部を主な支持基盤とした。
256. 南北戦争中に出されたホームステッド法 (自営農地法) によって, 西部開拓が進展した。
257. 南北戦争中に, リンカン大統領が奴隷解放宣言を出した。
258. リンカンは, 南北戦争中の「人民の, 人民による, 人民のための政治」の演説で知られる。
259. 南北戦争後, アメリカはロシアからアラスカを買収, 大陸横断鉄道を開通させた。
260. アメリカは, パン=アメリカ会議を開き, ラテンアメリカ諸国への影響力を強めた。

§ 32: 帝国主義時代の欧米列強の動向

261. イギリスは 3C 政策を推進した。
262. イギリス植民相ジョゼフ=チェンバレンは, 南ア戦争を指揮した。
263. 19 世紀末に, スペインはアメリカ合衆国にフィリピンを奪われた。
264. マッキンリー大統領の下でグアムを獲得した。
265. 19 世紀末に, ハワイ王国は共和政になった後, アメリカ合衆国に併合された。
266. ジョン=ヘイは, 19 世紀末に中国の門戸開放を主張した。
267. パナマ運河は, スエズ運河が開通した後に, アメリカによって建設された。
268. アメリカ合衆国では 19 世紀後半に, トラストの形成が進んだ。
269. アメリカ合衆国のロックフェラーは, 石油関連の独占資本家となった。
270. ヴィルヘルム 2 世は, 積極的な海外進出を目指す「世界征服」打ち出した。

§ 33: ロシア革命とソ連の行方

271. ペテルブルクで血の日曜日事件が起こった。
272. 第 1 次ロシア革命に際し, ニコライ 2 世は国会 (ドゥーマ) の開設を約束した。
273. ロシアでは, ストルイピン首相のもとでミール解体などの農業改革が行われた。
274. ロシア二月 (三月) 革命によって, ロマノフ朝が倒れた。
275. レーニンは, 第一次世界大戦の継続に反対した。
276. 二月 (三月) 革命後, ケレンスキーが臨時政府の首相となった。
277. レーニンは十一月革命の後, 「土地に関する布告」を發布した。
278. 首都がペトログラードからモスクワへ移された。
279. ソヴィエト政権は, ドイツとブレスト=リトフスク講和条約を締結し, 第一次大戦から離脱した。
280. ソヴィエト政権は, 戦時共産主義政策により食糧を強制的に徴発した。
281. 1919 年, ロシアに成立したソヴィエト政権は, 第 3 インターナショナル (コミンテルン) を設立した。
282. レーニンは資本主義を一部導入した新経済政策 (ネップ) を採用した。
283. 対ソ干渉戦後の 1922 年に, ソヴィエト社会主義共和国連邦が成立した。
284. スターリン時代に農業の集団化が行われ, コルホーズが組織された。

§ 34: 帝国主義の構造と第一次世界大戦

285. イギリスは, 日露戦争後, ロシアと英露協商を結んだ。
286. ロシアはパン=スラヴ主義の立場から, セルビアなど 4 国を集め, バルカン同盟の結成を支援した。
287. 三国同盟は, ドイツ・イタリア・オーストリアによる協力関係である。

288. 三国協商は、イギリス・ロシア・フランスによる協力関係である。
289. オーストリアは、サラエヴォ事件をきっかけとして、セルビアに宣戦した。
290. ドイツは中立国ベルギーに侵攻した。
291. ドイツとフランスがマルヌで戦った。
292. 日本は、イギリスとの同盟を理由にドイツに宣戦した。
293. ドイツが無制限潜水艦作戦を開始した後、アメリカ合衆国が参戦した。
294. ウィルソン大統領が、「十四か条の平和原則」を発表した。
295. キール軍港の水兵反乱をきっかけにドイツ革命が起こり、帝政が終わった。
296. 第一次世界大戦後に、ドイツではスパルタクス団が反乱を起こした。
297. 第一次世界大戦では、新兵器として戦車(タンク)が用いられた。

§ 35:ヴェルサイユ体制の成立とその内容

298. 第一次世界大戦後に、ユーゴスラヴィアがオーストリアから独立した。
299. ハンガリーと列強の間で、トリアノン条約が結ばれた。
300. 第一次世界大戦後、ソ連とドイツとの間でラパロ条約が結ばれた。
301. ワシントン会議はアメリカの提唱によって開かれた。
302. ワシントン会議では太平洋における各国の権益をめぐる四か国条約が結ばれた。
303. ワシントン会議では中国の主権と独立の尊重を決めた九か国条約が結ばれた。
304. 仏外相ブリアンの提唱で、不戦条約が結ばれた。
305. 国際連盟の設立時、アメリカ合衆国、ドイツは加盟していない。
306. ドイツはロカルノ条約締結後に国際連盟に加盟した。
307. 国際連盟に、国際労働機関(ILO)が付置された。

§ 36:戦間期の欧米諸国の動向

308. 1920年代、フランスはルール地方を占領した。
309. アメリカ合衆国では1920年代に移民制限を目的とする法律が制定された。
310. 独首相シュレーゼマンが、インフレーション対策のために改革を行った。
311. 賠償金の返済をスムーズ化させるためのドーズ案によって、ドイツ経済が復興した。

§ 37:ファシズム台頭

312. ローマ進軍によりファシスト政権が樹立された。
313. ムッソリーニ政権のイタリアは、エチオピアに侵攻し、併合した。
314. 世界恐慌を背景に、ナチスは第1党になった。
315. 1933年2月に国会議事堂放火事件が起こると、首相就任直後であったヒトラーは共産党を非合法化し、独裁体制を敷くことになる。

§ 38:世界恐慌

316. ニューヨークの株式取引所で株価が暴落し、世界恐慌のきっかけとなった。
317. F.ローズヴェルトにより、ニューディール政策の一環として、全国産業復興法が制定された。
318. 農業調整法(AAA)によって、農産物価格の引き上げが行われた。
319. ニューディール政策の一環として、テネシー川流域開発公社(TVA)が設立された。
320. アメリカ合衆国では、ワグナー法によって労働者の団結権が確定した。
321. アメリカ合衆国は善隣外交をとり、またソヴィエト連邦を承認した。
322. イギリスの第2次マクドナルド内閣は、財政再建のため、失業保険を削減しようとした。
323. イギリスでは、マクドナルド挙国一致内閣が金本位制を停止した。
324. 1930年代、オタワ連邦会議(イギリス連邦経済会議)が開催された。

325. フランスは、世界恐慌への対応策としてフラン＝ブロックを形成した。

§ 39:ナチス＝ドイツの勃興

- 326. ナチス＝ドイツは再軍備宣言を行った。
- 327. 1936年に、ナチス軍がラインラントに進駐した。
- 328. スペイン内戦では、ドイツとイタリアはフランコ軍を支持した。
- 329. 20世紀のスペインでは、内戦後、フランコが独裁体制を確立した。
- 330. ズデーテン地方は、ミュンヘン会談により、ドイツへの割譲が決定された。
- 331. ミュンヘン会談でイギリスとフランスは、宥和政策に基づいてドイツの要求を受け入れた。
- 332. 第二次世界大戦直前に、独ソ不可侵条約が結ばれた。

§ 40:第二次世界大戦

- 333. ドイツのポーランド侵攻をきっかけに、第二次世界大戦が始まった。
- 334. フィンランドは、ソ連の侵攻を受けた。
- 335. 第二次世界大戦中に、ドイツでは、ユダヤ系住民が強制収容所へ送られた。
- 336. 第二次世界大戦中、ロンドンにはドイツ軍による空襲を受けた。
- 337. ソ連は、スターリングラードの戦いでドイツ軍を破り、攻勢に転じた。
- 338. カイロ会談では、東アジアと太平洋の戦後処理に関するカイロ宣言が発表された。
- 339. ヤルタ会談では、戦後のドイツの分割占領管理などが決定された。
- 340. 連合軍がノルマンディーに上陸すると、その後パリは解放された。
- 341. ソ連軍がベルリンを占領し、ドイツは無条件降伏した。
- 342. 第二次世界大戦後、ドイツは米・英・仏・ソ4ヶ国によって分割占領された。
- 343. ニュルンベルク国際軍事裁判によって、ナチス＝ドイツの指導者が裁かれた。
- 344. スウェーデンは、第二次世界大戦中、中立を保った。

【東洋史】

§ 1:オリエン特世界

- 345. 古王国時代のエジプトでは、太陽神ラーが信仰された。
- 346. エジプトのピラミッドは、古王国時代の遺跡である。
- 347. オシリス神は、古代エジプトにおいて冥界の王とみなされていた。
- 348. バビロン第一王朝のハンムラビ王が制定した法典は、復讐法の原則に立っている。

§ 2:シリア＝セム系3民族

- 349. フェニキア文字の影響でギリシア文字が作られた。
- 350. ヘブライ王国は南北に分裂し、北はアッシリアに滅ぼされた。

§ 3:オリエン特世界の統一

- 351. アッシリアは前7世紀にオリエン特を初めて統一した。
- 352. 貨幣の鑄造は、アナトリア(小アジア)のリディアで始まったとされる。
- 353. アケメネス朝時代にギリシアとの戦争が起こった。
- 354. アケメネス朝時代にペルセポリス宮殿が造営された。
- 355. アレクサンドロス大王によって、前4世紀にアケメネス朝は滅ぼされた。

§ 4:古代イラン世界の動向

- 356. パルティアは、セレウコス朝からメソポタミアを奪った。

- 357. ササン朝ペルシアは、パルティアを倒して、建国した。
- 358. ササン朝ペルシアは、東方では、インダス川までをその領土とした。
- 359. シャープール 1 世は、ローマ皇帝ウァレリアヌスを捕虜とした。
- 360. ササン朝ペルシアは、二ハーヴァンドの戦いで、イスラーム勢力(アラブ軍)に敗れた。
- 361. ササン朝ペルシアの工芸品は、日本にも伝わった。
- 362. 『アヴェスター』は、ゾロアスター教の経典である。
- 363. ゾロアスター教と仏教とキリスト教が融合し、3 世紀にマニ教が成立した。

§ 5:古代インドの盛衰

- 364. インダス文明では、排水施設が作られた。
- 365. モエンジョ=ダロ(モヘンジョ=ダロ)は、インダス川流域に栄えた都市文明の遺跡で、大浴場(沐浴場)も建設された。
- 366. インダス文字は、現在も未解読である。
- 367. アーリヤ人は、ガンジス川流域に進出し農耕を行った。
- 368. 『ヴェーダ』はバラモン教の聖典である。
- 369. バラモン教は、ヴァルナ制と呼ばれる身分制度に基づいている。
- 370. ヴァルナ制は、4 つの身分からなる。
- 371. 仏教は、輪廻からの解脱を説いた。
- 372. ジャイナ教は、バラモン教を批判した。
- 373. アショーカ王の布教により、スリランカ(セイロン)に上座部仏教が伝播した。
- 374. サーンチーのストゥーパは、仏陀の遺骨を納めた建造物である。
- 375. クシャーナ朝のカニシカ王は、大乘仏教を保護した。
- 376. インドの仏教とヘレニズム文化が融合して、ガンダーラ美術が生まれた。
- 377. 大乘仏教の思想は、ナーガールジュナ(竜樹)によって大成された。
- 378. 小乗仏教という名称は、大乘仏教の側が与えた蔑称である。
- 379. 法顕が仏法を求めてグプタ朝を訪れた。
- 380. インドで、『マヌ法典』がまとめられた。
- 381. シヴァ神は、ヒンドゥー教の主神の一つである。
- 382. ヴィシュヌ神は、ヒンドゥー教の三神の 1 つである。
- 383. 13 世紀から、デリー=スルタン朝と総称されるイスラーム諸王朝が興った。
- 384. 14 世紀、南インドにヴィジャヤナガル王国が成立した。
- 385. アショーカ王は、仏教に帰依した。

§ 6:中国古代文明の盛衰

- 386. 竜山文化では黒陶と呼ばれる土器が制作された。
- 387. 黄河流域の主要作物は麦で、豚などが飼育されていた。
- 388. 殷では、青銅器が使用された。
- 389. 戦国時代に牛耕が始まった。
- 390. 戦国時代の秦は、商鞅の改革(変法)によって強国となった。

§ 7:秦の統一

- 391. 秦の始皇帝の時代に発行された半両銭には文字が記され、中央に方形の孔^{あな}があげられていた。
- 392. 李斯に代表される法家は、法に基づく統治を主張し、焚書・坑儒を行った。
- 393. 始皇帝は、文字・度量衡・貨幣を統一した。
- 394. 始皇帝の死後、陳勝・呉広の乱が起こった。
- 395. 始皇帝の陵墓近くから、兵馬俑が発掘された。

§ 8:前漢(前 202 年～後 8 年)と新王朝

- 396. 劉邦は、項羽を破り、長安を都として、前漢を開いた。
- 397. 前漢では、呉楚七国の乱平定の後、中央集権化が進んだ。
- 398. 漢の武帝は郡県制的統治に戻した。
- 399. 前漢では、郷挙里選による官吏登用を開始した。
- 400. 漢の武帝は塩・鉄などを専売品とし、また物価の調整と安定に努めた。
- 401. 漢の武帝は、物価対策などのために均輸・平準法を施行した。
- 402. 前 2 世紀後半、匈奴を挾撃するため、前漢の武帝は張騫を大月氏に派遣した。
- 403. 新は周の制度を理想として改革を行った。

§ 9:後漢(25～220)

- 404. 劉秀(光武帝)は、洛陽を都として漢を再興した。
- 405. 1 世紀末、和帝は班超を西域都護に任命した。
- 406. ローマ帝国の使節が、「大秦王安敦」の使者と称して日南郡を訪問した。
- 407. 後漢時代に、太平道が黄巾の乱を起こした。

§ 10:魏晋南北朝時代

- 408. 三国時代の魏は、九品中正(九品官人法)を始めた。
- 409. 三国時代、蜀が成都に都を置いた。
- 410. 司馬睿は、晋を再興して、建康を都とした。
- 411. 西晋時代に、五胡と呼ばれる諸民族が侵入し、華北で国を建てた。
- 412. 北魏の寇謙之により、道教教団が組織された。
- 413. 北魏時代、洛陽の郊外にある竜門に石窟寺院が開かれた。
- 414. 3 世紀に卑弥呼が、三国の魏に朝貢使節を送った。
- 415. 4 世紀前半、仏図澄が、仏教の布教に活躍した。
- 416. 北魏の孝文帝は、土地対策として均田制を施行した。

§ 11:隋の統一

- 417. 隋は南朝の陳を滅ぼし、中国を統一した。
- 418. 隋は、楊堅のときに科挙を始めた。
- 419. 隋・唐は、高句麗へ遠征軍を派遣した。

§ 12:唐の盛衰

- 420. 貞観の治として知られる、太宗李世民的統治が行われた。
- 421. 唐では、服属した諸民族をその長に支配させる羈縻政策を採った。
- 422. 唐の玄宗の治世は、開元の治と呼ばれた。
- 423. 751 年に、タラス河畔の戦いが起こり、製紙法が西方に伝播した。
- 424. ウイグルは、安史の乱の際、唐に援軍を送った。
- 425. 唐では、両税法が導入された。
- 426. 唐の末期には、各地の藩鎮が地方の実権を掌握した。
- 427. 唐の末期に黄巢が反乱を起こした。
- 428. 海上貿易の管理のために、市舶司を置いた。
- 429. 唐の太宗の時代に、玄奘がインドに旅し、仏典を持ち帰った。
- 430. 義浄は、シユリーヴィジャヤ王国に立ち寄り、その地についての記録を残した。
- 431. エフェソス公会議で異端とされたネストリウス派キリスト教が、中国に伝えられた。

§ 13:唐代の東アジア文化圏成立

- 432. 高句麗は4世紀に、楽浪郡を滅ぼした。
- 433. 高句麗は6世紀に、百済や新羅と対立した。
- 434. 唐は、白村江の戦いでは、日本を破った。
- 435. 高句麗は7世紀に、唐・新羅と戦って滅亡した。
- 436. 新羅では、骨品制と呼ばれる氏族的身分制を敷いた。
- 437. モンゴル高原では、柔然が5世紀に強勢を誇った。
- 438. 突厥が、ササン朝と結んでエフタルを滅ぼした。
- 439. 突厥は、隋に攻められて東西に分裂した。
- 440. キルギスが、9世紀にウイグルを滅ぼした。
- 441. ソンツェン=ガンポが、吐蕃を建てた。
- 442. 7世紀に成立した吐蕃で、チベット文字が作られた。
- 443. 南詔は、唐の冊封を受けた。
- 444. 10世紀に、雲南では南詔に代わって大理国が興った。

§ 14:五代十国時代

該当なし

§ 15:宋の盛衰

- 445. 都が開封に置かれた。
- 446. 北宋の趙匡胤は、文人官僚の登用を促進した。
- 447. 宋は、殿試を始め、皇帝の独裁体制を強化した。
- 448. 11世紀後半、皇帝となった神宗は、王安石を宰相に抜擢^{ぼってき}した。
- 449. 北宋の宰相王安石は、中小商人への低利の貸付である市易法や青苗法などの「新法」を施行することで、農民や中小商工業者らの生活を守り、国家財政の再建に努めた。
- 450. 宋は、新法党と旧法党の対立によって衰退した。
- 451. 宋は、靖康の変の結果、華北を失った。
- 452. 南宋では臨安(現在の杭州)に都が置かれた。
- 453. 秦檜は、金との関係をめぐり主戦派と対立した。
- 454. 宋代には、形勢戸が台頭した。
- 455. 商人の行、手工業者の作などの同業組合が生まれ、交子・会子が紙幣として流通した。
- 456. 宋代に、鎮・市という地方小都市が発展し、江南が農業の中心となって、「蘇湖熟すれば天下足る」といわれた。

§ 16:征服王朝

- 457. 契丹族は燕雲十六州を領有した。
- 458. 遼と宋との間に、澶淵の盟が結ばれた。
- 459. 遼では、契丹文字が作られた。
- 460. 耶律大石は、西遼(カラ=キタイ)を建てた。
- 461. 西夏文字は漢字の影響を受けている。
- 462. 金では全真教が興った。
- 463. 金は、オゴタイ=ハンによって滅ぼされた。

§ 17:モンゴル帝国の盛衰

- 464. 13世紀に、チンギス=ハンがモンゴル高原を統一した。
- 465. チンギス=ハンはクリルタイで推戴されハン位についた。

- 466. オゴタイ=ハンは金を滅ぼし、カラコルムに都を置いた。
- 467. 13世紀半ばに、ルイ9世の命でルブルックがカラコルムを訪れた。
- 468. イル=ハン国は、ガザン=ハンの治世にイスラーム教を国教とした。
- 469. 元の支配下では、西域出身の色目人が重用され、漢人・南人が蔑視された。
- 470. 元は交鈔を発行した。
- 471. モンゴル帝国の下で整備された駅伝制は、ジャムチと呼ばれた。
- 472. 元末期に紅巾の乱が起こった。
- 473. 元では、イスラーム世界の科学の影響で、授時暦が作成された。
- 474. 従来の大運河が補修され、また大都に至る新運河が建設された。

§ 18: 東南アジア前近代史

- 475. 2世紀に、中部ヴェトナムにチャンパーが成立した。
- 476. オケオは、扶南の港であった。
- 477. 真臘王朝のアンコール=ワットはスールヤヴァルマン2世によって建設された。
- 478. アンコール=ワットは当初はヒンドゥー寺院として建設された。
- 479. 陳朝では、ヴェトナムの文字であるチュノム(字喃)が作られた。
- 480. タイでは、13世紀にスコータイ王朝が交易で繁栄していた。
- 481. タイでは、明の時代に、アユタヤ朝が繁栄した。
- 482. コンバウン(アラウンパヤー)朝は、アユタヤ朝を滅ぼした。
- 483. タイのラーマ5世(チュラロンコン)は近代化政策を推進した。
- 484. ビルマのパガン朝では、上座部仏教が広まった。
- 485. シュリーヴィジャヤ王国は、唐に使節を派遣した。
- 486. シャイレンドラ朝の下で、ジャワ島にボロブドゥールが建てられた。
- 487. ジャワ島のマジャパヒト王国は、ヒンドゥー教国であった。
- 488. ジャワでは、ワヤンと呼ばれる影絵芝居が発達した。
- 489. 15世紀のマレー半島では、イスラーム教を国教としたマラッカ王国が海上交易で繁栄していた。
- 490. マラッカ王国はポルトガルによって占領された。
- 491. スマトラ島で興隆したアチェ王国は、イスラーム教国であった。
- 492. 1571年に建設されたマニラは、スペインの交易拠点であった。

§ 19: イスラーム教の成立と発展

- 493. 『クルアーン(コーラン)』はイスラーム教の聖典である。
- 494. イスラーム教は、7世紀に成立したアッラーを信じる一神教である。
- 495. メッカにあるカーバ神殿を聖地としている。
- 496. 断食は、五行の一つである。
- 497. イスラーム教は、偶像崇拜を禁止している。
- 498. イスラーム教における礼拝所は、モスクと呼ばれる。
- 499. マドラサはイスラーム世界で、ウラマーを育成するための学校であった。
- 500. 預言者ムハンマドは、迫害を逃れてメディナにヒジュラ(聖遷)を行った。
- 501. イスラーム暦は、ヒジュラの年を紀元元年として制定された。
- 502. ダマスクスは、ウマイヤ朝の都として繁栄した。
- 503. ウマイヤ朝の下で、カリフ位は世襲制となった。
- 504. ウマイヤ朝では、アラブ人は地租(ハラージュ)を免除された。
- 505. 7世紀末からウマイヤ朝は北アフリカからイベリア半島に進出した。
- 506. ウマイヤ朝はフランク王国内に侵攻し、トゥール=ポワティエ間の戦いで敗れた。
- 507. アッバース朝は、ティグリス河畔に首都バグダードを建設した。

508. アッバース朝全盛のハーローン=アッラシードの治世が 8 世紀末に始まった。
509. ウマイヤ朝の一族が、イベリア半島に後ウマイヤ朝を建て、のちにカリフと称した。

§ 20:イスラーム帝国の地域的大分裂

510. 11 世紀にベルベル人が建てたムラービト朝は、イベリア半島にも進出した。
511. マラケシュは、ムラービト朝の首都となった。
512. ナスル朝が、グラナダにアルハンブラ宮殿を建てた。
513. ファーティマ朝の君主は、カリフを名乗った。
514. アズハル学院は、ファーティマ朝時代のカイロに設立された。
515. サラーフ=アッディーン(サラディン)は、アイユーブ朝を建国した。
516. アイユーブ朝では、奴隷軍人(マムルーク)が用いられた。
517. 13 世紀に、マムルーク朝が成立し、十字軍と戦った。
518. ブワイフ朝が、アッバース朝の都バグダードに入城した。
519. ブワイフ朝では、イクター制によって軍人に徴税権が与えられた。
520. セルジューク朝のトゥグリル=ベクは、アッバース朝カリフよりスルタンの称号が与えられた。
521. 中央アジアでは、ホラズム朝がチンギス=ハンに倒された。
522. カラ=ハン朝が、サーマーン朝を滅ぼした。
523. カラ=ハン朝の下で、トルコ人のイスラーム化が進んだ。
524. アフガニスタンで成立したガズナ朝は、インドへの進入を繰り返した。
525. ゴール朝は、12 世紀に北インドに侵入した。
526. アイバクが、インドに奴隷王朝を建てた。
527. 4 世紀に、アクスム王国がクシュ王国を征服した。
528. ジンバブエ(大ジンバブエ)遺跡は、石造遺跡である。
529. ガーナ王国は、金と塩(岩塩)を交換する交易を行った。
530. 15 世紀に、西アフリカではマリ王国に替わってソンガイ王国が興った。
531. 東アフリカを中心に、スワヒリ文化が形成された。
532. ダウと呼ばれる帆船が、東アフリカと他の都市を結ぶ交易で活躍した。
533. ザンベジ川の南では、モノモタパ王国が栄えた。

§ 21:明王朝の盛衰

534. 明は、朱元璋によって建てられた。
535. 明では、中書省を廃止した。
536. 明では、衛所制による軍制を整えた。
537. 明の太祖洪武帝は民衆を統治するため、村落行政制度である里甲制を実施した。
538. 父母によく仕えて孝行しなさいなどの教えである六諭が定められた。
539. 洪武帝によって、明律が制定された。
540. 明は、海禁政策を採り、朝貢貿易体制を維持しようとした。
541. 日本と明の間では、勘合貿易が行われた。
542. 鄭和は、明の永楽帝の命を受け、中国から東アフリカまで航海した大艦隊を率いた。
543. 艦隊を率いた鄭和は、イスラーム教徒であった。
544. オイラト部が、明の皇帝を捕虜にした。
545. 16 世紀に、アルタン=ハンは青海・チベットにも進出した。
546. ツォンカパが、チベット仏教の改革を行った。
547. チベット仏教黄帽派の教主が、ダライ=ラマと呼ばれた。
548. 17 世紀に、チベットのラサにポタラ宮が建てられた。
549. 琉球王国は明に朝貢し、中継貿易で栄えた。

- 550. 季自成の反乱軍が北京を占領し、明朝は滅んだ。
- 551. 東南アジアとの貿易で繁栄した琉球王国は、15 世紀に統一され、繁栄を始めた。
- 552. 琉球は島津氏に支配されても、中国への朝貢を続けた。

§ 22:清の盛衰

- 553. ホンタイジは、藩部を管理する理藩院の整備を行った。
- 554. 17 世紀前半に、漢人に弁髪(辮髪)の風習を強制した。
- 555. 康熙帝は、雲南の呉三桂らが起こした三藩の乱を鎮圧した。
- 556. 台湾の鄭氏一族が、清朝に降伏した。
- 557. チベットは清朝の下で、藩部とされた。
- 558. 18 世紀前半に、キリスト教の布教を禁止した。
- 559. 雍正帝は、ロシアとの間にキャフタ条約を締結した。
- 560. 雍正帝は、軍事機密を保持するために軍機処を設置した。
- 561. 乾隆帝は、ジウンガル部を平定すると、イスラーム教徒の居住地である回部とをあわせて「新疆」(新たな領域)と呼び、これを藩部に加えた。
- 562. 清では、公行という商人組合に外国貿易を管理させた。
- 563. 文字の獄と呼ばれる言語弾圧が行われた。
- 564. 清では丁(人頭)税を土地税に繰り入れて徴収する地丁銀制が行われた。
- 565. 山西商人や徽州(新安)商人が活躍した。

§ 23:朝鮮半島史

- 566. 仏国寺は、新羅の時代に建立された仏教寺院である。
- 567. 王建が高麗を建てた。
- 568. 李成桂が初代国王となった。
- 569. 朝鮮王朝では、世界最古とされる銅活字が作られた。
- 570. 朝鮮王朝では、15 世紀半ばに訓民正音(ハングル)が制定された。

§ 24:近世イスラーム帝国の発展

- 571. ティムールは、サマルカンドを首都とする王朝を樹立した。
- 572. サファヴィー朝は、イスラーム教シーア派を国教とした。
- 573. サファヴィー朝は、ポルトガル人をホルムズ島から駆逐した。
- 574. オスマン帝国の国教はスンナ派のイスラーム教であった。
- 575. イェニチェリ軍は 14 世紀に編成された火器を装備するスルタン直属の歩兵からなる常備軍団であった。
- 576. イェニチェリ軍はキリスト教徒の子弟を徴集し、改宗させて編成した。
- 577. イェニチェリ軍は 19 世紀前半に廃止された。
- 578. オスマン帝国は、アンカラの戦いでティムール帝国に敗北した。
- 579. 15 世紀に、メフメト 2 世はコンスタンティノープルを占領した。
- 580. オスマン帝国は、セルム 1 世の治世にマムルーク朝を滅ぼしてその領土を併合し、イスラームの二つの聖都メッカとメディナを保護下に置いた。
- 581. オスマン帝国は、16 世紀前半にウィーンを包囲するなどスレイマン 1 世の時代が最盛期であった。
- 582. バーブルが、ムガル帝国を建てた。
- 583. ムガル帝国のアクバル帝は、アグラに都を置いた。
- 584. ムガル帝国のアクバルが、ヒンドゥー教徒に対する人頭税(ジズヤ)を廃止した。
- 585. シャー＝ジャハン帝は、愛妃の死を悼んでタージ＝マハルを建てた。
- 586. ムガル帝国のアウラングゼーブ帝は、人頭税(ジズヤ)を復活した。
- 587. アウラングゼーブ帝の時代にムガル帝国は最大の版図を有した。

588. ムガル帝国では、ペルシア語が公用語(公式文書に用いられる言語)であった。

§ 25:欧米列強の西アジア侵略

- 589. オスマン帝国は第2次ウィーン包囲を実行したが、占領に失敗した。
- 590. オスマン帝国はカルロヴィッツ条約によって、ハンガリーにおける領土の大半を失った。
- 591. ギリシアが、オスマン帝国から独立した。
- 592. ムハンマドアリーは、二度にわたるエジプト＝トルコ戦争を行った。
- 593. 19世紀前半のロンドン会議で、ムハンマド＝アリーがエジプト総督の世襲を認められた。
- 594. オスマン帝国は、青年トルコ革命(サロニカ革命)後に第1次バルカン戦争で敗れた。
- 595. アラビア半島では、ワッハーブ派が、イスラーム教の原点への回帰を主張した。
- 596. カージャール朝は、ロシアとの間にトルコマンチャーイ条約を結び、東アルメニアを割譲した。
- 597. イランでは、カージャール朝がバーク教徒の反乱を鎮圧した。
- 598. イランでイギリス人にタバコ利権が譲渡されると、タバコ＝ボイコット運動が起こった。
- 599. ロシアは英露協商を締結し、イランの権益をめぐるイギリスとの対立を解消した。
- 600. アフガニスタンは、19世紀にイギリスの保護国となった。

§ 26:欧米列強のアジア東進

- 601. イギリスは、プラッシーの戦いでフランスに勝利した。
- 602. イギリス支配下のインドのベンガル地方では、領主層を地稅納入の責任者とするザミンダーリー制が行われた。
- 603. マイソール戦争後、イギリスは南インド支配を確立した。
- 604. 19世紀に、シク教徒勢力を破り、インド北西部を征服した。
- 605. イギリス東インド会社の傭兵(シパーヒー)の蜂起をきっかけに、インドで大反乱が起こった。
- 606. インド大反乱の後、1877年にヴィクトリア女王がインド帝国の皇帝を兼ねた。
- 607. イギリスは3度のビルマ戦争により、ビルマ(ミャンマー)を征服し、インド帝国に併合した。
- 608. イギリスは19世紀前半に、シンガポールを植民地とした。
- 609. イギリスは、マレー半島でゴム栽培を推し進めた。
- 610. ヴェトナムで、西山(タイソン)党の反乱が起こった。
- 611. 阮福暎(阮福映)がヴェトナムを統一した。
- 612. ヴェトナムをフランスが保護国としたことから清仏戦争が起こった。
- 613. オランダは、コーヒーなどの強制裁培制度を1830年にジャワに導入した。

§ 27:東アジアの激動

- 614. ロシアは、ネルチンスク条約によって清と通称を始めた。エカチェリーナ2世が、ラクスマンを日本に派遣した。
- 615. 19世紀に、ムラヴィヨフが東シベリア総督となった。
- 616. 黒竜江(アムール川)が、アイグン条約により清とロシアの国境に定められた。
- 617. ロシアは、北京条約で沿海州を獲得し、ウラジヴォストークを建設した。
- 618. 19世紀に、ロシアが、ブハラ(ボハラ)・ヒヴァ・コーカンドの3ハン国を占領した。
- 619. 19世紀末、シベリア鉄道の建設が始まった。
- 620. 清代の19世紀初めに白蓮教徒は反乱を起こした。
- 621. イギリスは、マカートニーを派遣したが、清の乾隆帝に自由貿易を認めさせることはできなかった。
- 622. イギリスのアマーストが中国に派遣された。
- 623. 清はアヘン戦争での敗北によって、上海など5港が開港された。
- 624. アヘン戦争での敗北によって、公行が廃止された。
- 625. アヘン戦争に敗北し、アメリカ合衆国と望厦条約を結んだ。
- 626. 清は黄埔条約によって、フランスに対する関稅自主権を失った。
- 627. 北京条約で、キリスト教布教の自由が認められた。

- 628. 北京条約後、総理各国事務衙門(総理衙門)を設置した。
- 629. 天津が、北京条約により開港された。
- 630. 洪秀全の指導で、太平天国が樹立され、南京(天京)を首都と定めた。
- 631. 太平天国は、滅満興漢を唱えた。
- 632. 太平天国により、天朝田畝制度が発布されたが未実施に終わった。
- 633. 太平天国は、纏足を禁止する政策を打ち出した。
- 634. 太平天国鎮圧のために、外国人を指揮者とする常勝軍が活躍した。
- 635. 李鴻章は郷勇を組織し、太平天国と戦った。
- 636. 太平天国の鎮圧を指導した清朝官僚は、洋務運動を推進した。
- 637. 19世紀末に、光緒帝の支持のもとに、明治維新を改革モデルとした、憲法制定を図る変法運動が起こった。
- 638. 戊戌の政変により、立憲君主政を導入する改革は挫折した。

§ 28:日本の大陸進出と中国分割

- 639. 朝鮮王朝では、甲午農民戦争が起こった。
- 640. 日本は、下関条約で、清から台湾・澎湖諸島を獲得した。
- 641. 三国干渉によって、遼東半島は日本から清に返還された。
- 642. ロシアは清から旅順と大連を租借した。
- 643. イギリスは、威海衛を租借した。
- 644. 義和団事件は山東省で勃発した。
- 645. 義和団は「扶清滅洋」をスローガンに掲げた。
- 646. 義和団事件に際し、外国軍は、清に軍隊を派遣した。
- 647. 北京議定書により外国軍隊の北京駐留が認められた。
- 648. 義和団事件終結後もロシアは撤兵せず、中国東北部に駐留を続けた。これを脅威とみなした二つの国によって締結されたのが日英同盟である。
- 649. 日露戦争の終結で、セオドア＝ローズヴェルトの仲介によるポーツマス条約が結ばれた。
- 650. 日露戦争の結果、日本は南樺太を領有するようになった。
- 651. 日露戦争の講和条約で、日本は韓国(朝鮮)に対する指導権(優越権)を認められた。
- 652. 朝鮮半島では、日本による韓国保護国化後、義兵闘争が開始された。
- 653. 日本が韓国を併合し、朝鮮総督府を置いた。

§ 29:日露戦争の影響

- 654. 中国同盟会は、日本の東京で組織された。
- 655. インド国民会議派は、ベンガル分割令の公布に対抗した。
- 656. インドでは、国民議会議派が「スワデーシ(国産品愛用)」や「スワラージ」を掲げてイギリスの支配に対抗した。
- 657. インドでは、全インド＝ムスリム連盟が結成された。
- 658. ヴェトナムでは、東遊(ドンズー)運動が推進された。
- 659. インドネシアでは、イスラーム同盟(サレカット＝イスラーム)が結成された。

§ 30:辛亥革命

- 660. 清は、1905年に科挙を廃止した。
- 661. 清末に、鉄道の国有化に反対して、四川で暴動が起こった。
- 662. 辛亥革命は、革命派が武昌で蜂起して始まった。
- 663. 中華民国は都を南京として成立した。
- 664. 外モンゴルは、辛亥革命の際、独立を宣言した。

§ 31:アフリカ分割

- 665. 19 世紀,リヴィングストンはアフリカ内陸部の探検を行った。
- 666. レセブスの指導で,スエズ運河が建設された。
- 667. エジプト政府の財政難から,スエズ運河会社株はイギリスに買収された。
- 668. イギリスは,ウラービー(オラービー、アラビー)の反乱を制圧した。
- 669. スーダンではイギリスに対して抵抗するマフディー運動が起こった。
- 670. イギリスはマフディー国家を滅亡させた後,東スーダン支配を確立した。
- 671. イギリスとフランスの間で,ファショダ事件が起こった。
- 672. セシル＝ローズは,ケープ植民地首相となった。
- 673. ブール(ボーア)人がオレンジ自由国を建てた。
- 674. イギリスは,ブール(ボーア)戦争でオランダ人の子孫の国を破った。
- 675. 金鉱が見つかったトランスヴァール共和国は,のちにイギリスに併合された。
- 676. 1910 年に成立した南アフリカ連邦は,イギリスのアフリカ侵略の拠点となった。
- 677. フランスは,マダガスカル島を植民地とした。
- 678. ドイツのベルリンで列強のアフリカ分割をめぐる会議が開かれた。
- 679. ドイツは,カメルーンを獲得した。
- 680. ドイツは,フランスのモロッコ支配に干渉するモロッコ事件を起こした。
- 681. リビア(トリポリ・キレナイカ)は,イタリアの植民地となった。
- 682. リビアはイタリアに占領され,第二次世界大戦後に独立を果たした。
- 683. リベリアは 19 世紀に独立し,共和国となった。

§ 32:太平洋・オセアニア分割

- 684. フランスは,ニューカレドニア島を領有した。
- 685. アメリカ合衆国は,グアム島を領有した。
- 686. ドイツは,マーシャル諸島を領有した。
- 687. オーストラリアは,イギリスの流刑植民地となった。
- 688. 20 世紀初めにオーストラリアは,イギリスの植民地から自治領となった。
- 689. イギリス領となったニュージーランドでは,先住民マオリ人が土地を奪われた。
- 690. ニュージーランドでは,20 世紀前半に,イギリスの自治領となった。
- 691. ドイツ領南洋諸島が,日本によって占領された。
- 692. ハワイ王国は,19 世紀に滅亡した。

§ 33:第一次世界大戦後のアジア・アフリカ

- 693. ワフド党は,イギリスからのエジプトの独立を主張した。
- 694. イギリスは,フセイン＝マクマホン協定を結んだ。
- 695. フランスは,イギリス・ロシアとトルコ領を分割するサイクス＝ピコ協定を結んだ。
- 696. イギリスは,ユダヤ人に対してバルフォア宣言を出した。
- 697. トルコでは,ムスタファ＝ケマル(ケマル＝パシャ)が政教分離を実施した。
- 698. トルコ共和国では,トルコ共和国憲法が発布された。
- 699. イランでは,レザー＝ハーンが,パフレヴィー朝を開き,殖産興業を推進した。
- 700. 第一次世界大戦後に,アフガニスタンがイギリスから独立した。
- 701. インドでは,ガンディーが国民会議派を指導した。
- 702. インドでは,ローラット法が,第一次世界大戦後に施行された。
- 703. インドでは,完全独立を求めるプールナ＝スワラージが決議された。
- 704. 1935 年に,新インド統治法が制定された。
- 705. アンカラは,トルコ共和国の首都となった。

§ 34:中国国民革命の完成

- 706. 朝鮮では、第一次世界大戦後、「独立万歳」を叫ぶ三・一運動が起こった。
- 707. 『新青年』は、陳独秀によって創刊された。
- 708. 胡適は、口語による文学を提唱した。
- 709. 魯迅は、『阿Q正伝』を発表した。
- 710. 中国政府は、ヴェルサイユ条約の調印を拒否した。
- 711. コミンテルンの指示のもと、中国共産党が結成された。
- 712. 1920年代に、第1次国共合作が実現した。
- 713. 孫文によって、「連ソ・容共・扶助工農」の方針が打ち出された。
- 714. 蔣介石は、国民革命軍(国民政府軍)を指揮して北伐を行った。
- 715. 蔣介石は、上海でクーデタを起こし、共産党を弾圧した。
- 716. 国民革命軍が、北伐を行い、北京に入城した。
- 717. 中国共産党は中華ソヴィエト共和国臨時政府を樹立し、毛沢東が主席となった。
- 718. 中国共産党は農村を拠点とする革命運動を行うようになった。
- 719. 中国では、八・一宣言で抗日が呼び掛けられた。
- 720. 中国共産党は、長征の後、延安に根拠地を移した。
- 721. 張学良は、抗日政策に同調した。
- 722. 蔣介石は、西安で張学良に監禁された。
- 723. 1921年、中国で、共産党が結成された。
- 724. 山東半島の日本利権をめぐる、五・四運動が起こった。
- 725. 五・四運動は、北京での学生デモから始まった。
- 726. 中華民国は、パリ講和会議に参加し、ヴェルサイユ条約の調印を拒否した。
- 727. 中華民国は、ワシントン会議に参加し、九ヶ国条約に調印した。

§ 35:日本の大陸進出と抗日統一

- 728. 日本は清朝最後の皇帝であった溥儀を執政として満州国を建てた。
- 729. 国際連盟はリットン調査団を派遣し、満州国を認めなかった。
- 730. 南京陥落後、国民政府は重慶に首都を移し、日本に対する抗戦を続けた。
- 731. 日中戦争中、国民政府は首都を重慶に移した。
- 732. 日本は、南京に樹立された江兆銘(江精衛)の親日政府を承認した。

§ 36:太平洋戦争

- 733. ハワイは日本により真珠湾を攻撃された。
- 734. シンガポールは、第二次世界大戦中の1942年以降、日本の支配下に置かれた。
- 735. 1942年、日本海軍はミッドウェーでアメリカ海軍に大敗を喫した。
- 736. 中国の代表が参加したカイロ会談で、対日処理方針が発表された。
- 737. ソ連が日本に宣戦した。
- 738. アメリカ合衆国は、トルーマン大統領の命により、広島と長崎に原子爆弾を投下した。
- 739. 日本はポツダム宣言を受諾して無条件降伏した。
- 740. 日本が、シンガポールを占領した。

【戦後史】

§ 1:冷戦の動向

- 741. チャーチルが、「鉄のカーテン」演説を行った。
- 742. トルーマン大統領は、ソヴィエト連邦「封じこめ政策」を打ち出した。

- 743. 1947年にマーシャル=プランを発表した。
- 744. ソヴィエト連邦によって、コミンフォルムと経済相互援助会議(COMECON)が結成された。
- 745. ソ連は、1948年にベルリン封鎖を行った。
- 746. アメリカ合衆国とイギリスを中心として、北大西洋条約機構(NATO)が結成された。
- 747. 西ドイツは、北大西洋条約機構(NATO)の一員となった。
- 748. 中国の周恩来首相とインドのネルー首相が会談し、平和五原則を発表した。
- 749. 1955年、アジア=アフリカ会議が、バンドンで開かれた。
- 750. ジュネーブ四巨頭会談の結果、ソヴィエト連邦との緊張が一時的に緩和した。
- 751. 東ドイツによる「ベルリンの壁」の構築は、冷戦の象徴となった。
- 752. 1960年代に、ソ連が、キューバにミサイルを配置したため、キューバ危機が生じた。
- 753. ド=ゴールは北大西洋条約機構の軍事機構からの脱退を決定した。
- 754. 中距離核戦力(INF)全廃条約は、アメリカのレーガン大統領とソ連のゴルバチョフ書記長によって調印された。

§ 2:朝鮮戦争

- 755. 朝鮮戦争の開始前に、金日成が朝鮮民主主義人民共和国の首相になった。
- 756. 朝鮮戦争への国連軍の派遣は、安全保障理事会で決議された。
- 757. 朝鮮戦争の際、中国は義勇軍を派遣して、国連軍と戦った。
- 758. 朝鮮戦争が起こると、近隣国である日本とアメリカは日米安全保障条約を結んだ。
- 759. 大韓民国では、1960年代に登場した朴正熙政権の下で経済の高度成長を見た。
- 760. 1980年、韓国では光州事件が起こった。

§ 3:中国

- 761. 周恩来は中華人民共和国の初代首相に就任した。
- 762. 中国政府は、第2次五カ年計画中に大躍進政策を推進した。
- 763. プロレタリア文化大革命が起こり、毛沢東は政権に返り咲いた。
- 764. 文化大革命では、劉少奇は実権派(走資派)として失脚した。
- 765. 文化大革命では若い世代を中心に、紅衛兵が組織された。
- 766. 1960年代に、中華人民共和国とソ連の間で、国境紛争が起こった。
- 767. 1970年代に、アメリカ合衆国のニクソン大統領が、中華人民共和国を訪問した。
- 768. カーター大統領との間で、米中国交正常化を果たした。
- 769. 日中共同声明により、日中の国交正常化が実現した。
- 770. 中国では、天安門事件(第1次天安門事件)の後に、「四つの現代化」が推進され、人民公社が解体された。
- 771. 天安門事件(第2次天安門事件)で、民主化運動が鎮圧された。
- 772. 1997年、イギリスから香港が返還された。
- 773. 中国共産党との内戦に敗れた蒋介石が台湾に逃れた。
- 774. 1980年代に台湾は新興工業経済地域(NIES)として注目された。
- 775. 中華人民共和国が、1971年に台湾に変わって、国連における代表権を獲得した。

§ 4:ヴェトナム戦争

- 776. ホー=チ=ミンが、ヴェトナム民主共和国の独立を宣言した。
- 777. フランスは、バオ=ダイ政権をバックアップした。"
- 778. フランスが、ディエンビエンフーで敗北した。
- 779. アメリカに支援されたゴ=ディン=ディエムが、南ヴェトナムに政権を樹立した。
- 780. ヴェトナム戦争で、アメリカ合衆国は南ヴェトナム解放民族戦線とも戦った。
- 781. ジョンソン大統領は、北ヴェトナム爆撃を開始した。
- 782. 1970年代初めのアメリカ合衆国ではヴェトナム戦争の費用が国家財政を圧迫した。

783. ニクソンは、ヴェトナム戦争を終結させた。
784. ヴェトナム戦争の後、ヴェトナム社会主義共和国が成立した。

§ 5:その他の東南アジア

785. インドネシアは、武力闘争の末に、オランダから独立した。
786. インドネシアでは、1990年代に経済危機などを契機に開発独裁への批判が高まり、スハルト大統領は退陣を余儀なくされた。
787. 1970年代に、東ティモールはポルトガルからの独立を宣言した。
788. インドネシアから分離した東ティモールが、2002年に独立国となった。
789. 1960年代に、マレーシア連邦からシンガポールが分離・独立した。
790. フィリピンでは、1986年のフィリピン革命でマルコス大統領が失脚し、アキノ政権が成立した。

§ 6:南アジア

791. ネルーがインドの初代首相を務めた。
792. インドとパキスタンは、カシミール地方の帰属をめぐる戦争をした。
793. 第3次印パ戦争後に、イスラーム教のバングラデシュが独立した。
794. 第二次世界大戦後、セイロン島はイギリス連邦内の自治領として独立し、1972年、スリランカ共和国に改称した。
795. 1974年にインドが、1998年にパキスタンが、相次いで核実験を行った。

§ 7:中東戦争

796. イスラエルは、建国と同時にアラブ諸国との第1次中東戦争に入った。
797. 第1次中東戦争後、エジプトではナセルを指導者とする革命(クーデタ)が起こった。
798. エジプトのナセル大統領による、スエズ運河の国有化宣言をきっかけに、第2次中東戦争が起こった。
799. 第3次中東戦争で、エジプトはイスラエルにシナイ半島を奪われた。
800. 第4次中東戦争の結果、石油危機(第1次石油危機)が発生した。
801. 1970年代に、エジプトは、サダト大統領の下でイスラエルと平和条約を結んだ。
802. 1993年、PLO議長のアラファトはパレスチナ暫定自治協定に調印した。

§ 8:その他の中東地域

803. イランのモサッデク(モサデグ)は、1951年に石油の国有化を決定した。
804. 1979年、イラン革命の結果、ホメイニがイランの指導者となった。
805. 1980年、イランとイラクの間で戦争が起こった。
806. 1991年、イラクがクウェートを占領した結果、湾岸戦争が起こり、多国籍軍が派遣された。

§ 9:アフリカ

807. 1952年、エジプト革命で王政が倒れ、共和国が成立した。
808. リビアは、第二次世界大戦後にイタリアから独立した。
809. チュニジアが1950年代にフランスから独立した。
810. 1957年、ガーナが、エンクルマの指導下で、イギリスから独立した。
811. アフリカで多くの国々が独立した1960年は、「アフリカの年」と呼ばれた。
812. 南アフリカ共和国では、デクラーク大統領の就任後、人種隔離政策が撤廃された。
813. ベルギーから独立したコンゴで、1960年に内戦が起こった。
814. アンゴラは1970年代に、ポルトガルから独立した。
815. アフリカ統一機構(OAU)は、アフリカ連合(AU)に発展した。

§ 10:西ヨーロッパ

816. 第五共和政の時期におけるフランスは、アルジェリアの独立を認めた。

817. 西ドイツ首相ブランドが、東欧諸国との関係改善を進めた。

§ 11:東ヨーロッパ&ソ連邦

818. フルシチョフ首相が、平和共存を提唱した。

819. ソヴィエト連邦は、アメリカ合衆国に先行して、人工衛星の打ち上げに成功した。

820. 1968年、ブレジネフ政権下で、チェコスロヴァキアの「プラハの春」に軍事介入した。

821. 1979年にアフガニスタンに侵攻したソ連軍は、ゴルバチョフ政権下で撤兵した。

822. 1980年代、ソ連でチェルノブイリ原発事故が起こった。

823. ソ連では、ゴルバチョフが「グラスノスチ(情報公開)」を唱えた。

824. ユーゴスラヴィアは、コミンフォルムから除名された。

825. 1956年、ハンガリーではナジ政権の下で、ソ連の軍事侵攻を受けた。

826. ポーランドでは、社会主義体制下で、自主管理労組「連帯」が結成された。

827. 「連帯」の指導者ワレサがポーランドの大統領に選出された。

828. 1989年に、ルーマニアでは、チャウシェスク政権が打倒された。

829. 冷戦終結後、ユーゴスラヴィアで内戦が起こった。

§ 12:中南米諸国

830. チリでは、1973年のクーデタによって、アジェンデ政権が打倒された。

831. 1980年代に、アルゼンチンとイギリスの間で、フォークランド(マルビナス)紛争が起こった。

§ 13:アメリカ合衆国

832. アメリカ合衆国のケネディ大統領が暗殺された。

833. アメリカ合衆国のアポロ11号が、月面着陸に成功した。

834. アメリカ合衆国のニクソン大統領は、ドルと金の交換を停止した。

835. カーター大統領は、人権外交を展開した。

836. レーガン大統領は、「強いアメリカ」を唱えた。

837. ブッシュ大統領は、マルタ会談を行い、東西冷戦の終結を宣言した。

838. ブッシュ大統領の在任中に、湾岸戦争が起こった。

§ 14:条約機構

839. 国際連合は大西洋憲章に基づいて設立され、サンフランシスコ会議で国際連合憲章が採択された。

840. 国際連合は、日本が降伏した後の1945年10月に発足した。

841. 第二次世界大戦後、1948年に、国際連合の総会で、世界人権宣言が採択された。

842. 国際通貨基金(IMF)と世界保健機関(WHO)は、国際連合の専門機関として設立された。

843. 第二次世界大戦後自由貿易を強化する目的で、GATT(関税および貿易に関する一般協定)が結ばれた。

844. 国連貿易開発会議(UNCTAD)は、南北問題の解決に取り組んだ。

845. アメリカ合衆国が、反共組織として、中南米諸国に米州機構(OAS)を組織させた。

846. アメリカ合衆国は、オーストラリアとニュージーランドとの間に、太平洋安全保障条約(ANZUS)を締結した。

847. 反共軍事同盟である中東(バグダード)条約機構(METO)が結成された。

848. ヴェトナム戦争中に、東南アジア諸国連合(ASEAN)が結成された。

849. カンボジアは、東南アジア諸国連合(ASEAN)に東南アジアで最後に加わった。

850. 6カ国で、ヨーロッパ経済共同体(EEC)が設立された。

851. ヨーロッパ経済共同体(EEC)の結成に、イギリスは参加していない。

852. 1992年に、アメリカ合衆国・カナダ・メキシコは、北米自由貿易協定(NAFTA)を結んだ。

853. オーストラリアは、アジア太平洋経済協力会議(APEC)を提唱した。

§ 15:その他

- 854. アメリカ合衆国は、ビキニ環礁で水爆実験を行った。
- 855. 1957年、パグウォッシュ会議で、科学者たちが核兵器の禁止を訴えた。
- 856. IAEA(国際原子力機関)は、原子力の平和利用を監視する国際機関である。
- 857. ド=ゴール時代に、フランスは核開発を開始した。
- 858. 米英ソは、1963年に部分的核実験停止(禁止)条約に調印した。
- 859. 中国は、1960年代に初めて核実験に成功した。
- 860. 石油危機(第1次石油危機)後の各国の政策協調を図るために、主要先進国首脳会議(サミット)が始まった。
- 861. アメリカ合衆国のスリーマイル島で、原子力発電所の事故が起こった。
- 862. 1992年に、環境と開発に関する国連環境開発会議(地球サミット)が、ブラジルのリオデジャネイロで開催された。
- 863. サンフランシスコ平和(講和)条約によって、日本が独立を回復した。
- 864. 1956年に日ソ共同宣言が結ばれ、日本は国際連合に加盟した。

【文化史】

§ 1:ギリシア・ヘレニズム文化

- 865. エーゲ文明では、線文字が発明された。
- 866. パルテノン神殿の建つ丘は、アクロポリスと呼ばれている。
- 867. ギリシアの自然哲学者らは、万物の根源を探求することを主な活動としていた。
- 868. デモクリトスは、万物の根源は原子(アトム)であると論じた。
- 869. プロタゴラスはソフィストの代表で、「人間は万物の尺度」と主張し、客観的真理の存在を否定した。
- 870. ホメロスの『イリアス』は古代ギリシアの代表的な叙事詩である。
- 871. 『労働と日々』(『仕事と日々』)が、ヘシオドスによって著された。
- 872. ヘロドトスは、ペルシア戦争の歴史を叙述した。
- 873. エジプトのアレクサンドリアに、ムセイオン(王立研究所)がつくられた。
- 874. エウクレイデスは、幾何学を発展させた。
- 875. エラステネスは、初めて地球の周囲の長さを測定した。
- 876. オリンポス12神は、人間と同じ姿を持つものと考えられていた。

§ 2:ローマ文化

- 877. ポリビオス(ポリュビオス)は『歴史(ローマ史)』を著した。
- 878. 『ローマ建国史』(『ローマ史』)が、リヴィウスによって著された。
- 879. 『自省録』が、マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝によって著された。
- 880. プトレマイオスは、『アルmagest』を著し、天動説を体系化した。
- 881. 今日のグレゴリウス暦は、カエサルが作ったユリウス暦を修正して作られた。

§ 3:西欧中世文化

- 882. 5世紀にアウグスティヌスによって『神の国』『告白録』が著された。
- 883. アンセルムスは、中世の神学の発展に貢献した。
- 884. トマス=アクィナスは、『神学大全』を著した。
- 885. ロジャー=ベーコンは、経験を重視した方法論を説いた。
- 886. イスタンブルの聖ソフィア(ハギアニソフィア)聖堂は、後にイスラーム教のモスクに改修された。
- 887. ロマネスク様式に続いてゴシック様式が広まった。
- 888. ゴシック様式の教会建築の特色に、ステンドグラスがある。

- 889. イタリアのボローニャ大学は法学で、サレルノ大学は医学で知られるようになった。
- 890. パリ大学はヨーロッパ最古の神学大学である。
- 891. 『ニーベルンゲンの歌』は、ゲルマン人の英雄叙事詩に基づいている。

§ 4:ルネサンス

- 892. ダンテは、『神曲』をトスカナ(イタリア)語で著した。
- 893. ペトラルカが、叙情詩を作った。
- 894. フィレンツェ郊外で生まれたジョットは、礼拝堂の壁画などで名作を残した。
- 895. レオナルド＝ダ＝ヴィンチは、「最後の晚餐」などの作品を制作して活躍し、晩年はフランソワ1世の招きによりフランスで過ごした。
- 896. ブルネレスキが、サンタ＝マリア聖堂を建てた。
- 897. レバントの海戦に参加したセルバンテスは、『ドン＝キホーテ』を著した。
- 898. コペルニクスは、『天球の回転について』を著し、地動説を唱えた。
- 899. グーテンベルクが15世紀に、活版印刷術を改良・実用化した。
- 900. オランダのエラスムスが、『愚神礼讃』を書いた。

§ 5:17・18世紀のヨーロッパ文化

- 901. オランダのグロティウスは、『海洋自由論』を著した。
- 902. ヴェルサイユ宮殿はフランスにおけるバロック様式の代表的な建造物である。
- 903. 18世紀に、ポツダムにロココ式のサンソーシ宮殿が建てられた。
- 904. レンブラントは、『夜警』で市民の姿を描いた。"
- 905. ミルトンが、『失樂園』を著した。
- 906. デフォーが、『ロビンソン＝クルーソー』を著した。
- 907. ホブズは社会契約説の立場から、人間社会の自然状態を「万人の万人に対する闘争」としてとした。
- 908. ルソーは、『社会契約論』を著した。
- 909. モンテスキューは、『法の精神』を著し、三権分立を説いた。
- 910. フランスのデイドロとダランベールは、『百科全書』を編集した。
- 911. ケネーは、『経済表』を著し、重農主義を唱えた。
- 912. アダム＝スミスは、経済活動の自由を提唱し、『諸国民の富』(『国富論』)を著した。
- 913. リスト(フリードリヒ＝リスト)は、国家による経済の保護を提唱した。
- 914. マルクスとエンゲルスは、『共産党宣言』を発表した。
- 915. ニュートンは、万有引力の法則を発見し、『プリンキピア』を著した。
- 916. クックは、18世紀中頃に太平洋の島々を探検した。

§ 6:産業革命

- 917. イギリスで、牡羊のための第一次囲い込みが進展した。
- 918. 18・19世紀のマンチェスターでは綿工業が発展した。
- 919. ジョン＝ケイによる飛び杼の発明がきっかけとなり、綿織物工業の技術革新が始まった。
- 920. アークライトは水力紡績機を発明した。
- 921. ダービー父子は、製鉄にコークスを用いる方法を開発した。
- 922. フルトンが蒸気船を実用化した。
- 923. 19世紀前半に、マンチェスターとリヴァプールは、鉄道で結ばれた。
- 924. 19世紀に、スティーヴンソンにより蒸気機関車を実用化された。
- 925. イギリスでは、1811年から機械を打ち壊すラダイト運動が起こった。
- 926. 第2次産業革命で、石油が新しいエネルギー資源として登場した。

§ 7:19・20 世紀のヨーロッパ文化

927. ドイツの古典主義の作家ゲーテは、『若きウェルテルの悩み』『ファウスト』を著した。
928. イギリスのロマン主義の詩人バイロンは、ギリシア独立戦争に参加した。
929. 『赤と黒』の作者であるスタンダールは、1812年のナポレオンによるロシア遠征に参加した。
930. フランスの自然主義(写実主義)の画家ミレーは、『落穂拾い』など農村の生活を描いた。
931. 『ゲルニカ』は、ゲルニカという都市がスペイン内戦の時にドイツ軍に空襲されたことを題材にしてピカソが描いた作品である。
932. ナポレオン時代に、音楽家ベートーヴェンが活躍した。
933. ドイツのロマン派の作曲家ワグナーは、楽劇を創始した。
934. 19世紀に、ノーベルによってダイナマイトが発明された。
935. モールスは、電信機を発明した。
936. ベルが電話を発明した。
937. マルコーニが、無線電信を発明した。
938. キュリー夫人は、ラジウムを発見した。
939. ダイムラーが、ガソリン機関を発明した。
940. 19世紀後半にリュミエール兄弟によって映画が発明された。
941. イギリスのダーウインは、進化論を唱え、『種の起源』を著した。
942. ドイツのレントゲンは、X線を発見した。
943. ドイツのコッホは、細菌学の研究を行った。
944. オーストリアのメンデルは、エンドウ豆を使って遺伝法則の実験を行った。
945. イギリスのファラデーは、電磁誘導の法則を発見した。
946. ラジオ放送は、第一次世界大戦後に普及した。
947. アメリカ合衆国では、1920年代に、ラジオ放送やジャズなどの大衆文化が発展した。
948. フォードが、大量生産システムで自動車を生産した。
949. インターネットは、第二次世界大戦後に普及した。

§ 8:中国古代文化

950. 前漢の董仲舒は、儒学の官学化を勧めた。
951. 後漢の鄭玄は、古典の注釈を主とする訓詁学の学者である。
952. 後漢の蔡倫が、製紙法を改良した。

§ 9:魏晋南北朝時代の文化

953. 書分野では、王羲之が著名である。
954. 陶淵明(陶潜)は、東晋を代表する詩人である。
955. 顧愷之が、『女史箴図』を描いた。
956. 梁の昭明太子が、『文選』を編纂した。
957. 農書として、北魏時代に『齊民要術』が編纂された。
958. 魏晋時代に竹林の七賢と呼ばれる清談家が現れた。

§ 10:隋・唐の文化

959. 唐の太宗は、孔穎達らに命じて五経の注釈書である『五経正義』を編纂させた。
960. 唐の王維は、詩人であり画家でもあった。
961. 唐代の韓愈や柳宗元は、古文の復興を提唱した。
962. 顔真卿は、唐代を代表する書家である。

§ 11:宋の文化

- 963. 蘇軾は、宋代を代表する文筆家である。
- 964. 宋代に、水墨を用いた文人画が描かれた。
- 965. 北宋の皇帝である徽宗は、画院を保護した。
- 966. 宋代には、朱熹によって、大義名分論が唱えられた。
- 967. 宋の王安石は、詩人であり、新法と呼ばれる改革も行った。
- 968. 欧陽脩らの名文家が、活躍した。

§ 12: モンゴル時代の文化

- 969. 元代の郭守敬によって授時暦が作られた。
- 970. 元の時代に、戯曲『西廂記』が生まれた。
- 971. フビライ=ハンの命令で、チベット文字を母体としたパスパ文字が作られた。
- 972. モンテ=コルヴィノが大都を訪れ、カトリックを布教した。
- 973. イブン=バトゥータは元代の中国を訪れ、『三大陸周遊記』を著した。

§ 13: 明・清の文化

- 974. 『永楽大典』が編纂された。
- 975. 実学が盛んになる中、李時珍が『本草綱目』を著した。
- 976. 明代に、産業技術書である『天工開物』が著された。
- 977. 顧炎武が、考証学が基礎を築いた。
- 978. 清の乾隆帝は、『四庫全書』を編纂させた。
- 979. 清代に、小説『紅樓夢』『儒林外史』が書かれた。
- 980. 清代に、戯曲として『長生殿伝奇』（『長生殿』）が作られた。
- 981. 明の徐光啓は、イエズス会宣教師と組んで実学を発展させた。
- 982. マテオ=リッチは、『坤輿万国全図』を作成して、広い世界の全体の姿を中国に紹介する役割も担った。
- 983. アダム=シャルは、中国に西洋天文学の知識を紹介し、暦の改定にあたった。
- 984. ブーヴェは、『皇輿全覧図』の製作に携わった。
- 985. 円明園が、カステリオーネらの設計によって造営された。
- 986. イエズス会は、布教する際に中国人の祖先崇拜を容認した。

§ 14: イスラーム文化

- 987. アラベスクは、イスラーム様式の文様である。
- 988. ミニアチュールと呼ばれるイスラーム様式の絵画が発達した。
- 989. イスラーム世界では、マドラサと呼ばれる機関で法学を中心とした教育が行われた。
- 990. アッバース朝時代に、多くのギリシア語文献がアラビア語に翻訳された。
- 991. グラナダに、イスラーム建築を代表するアルハンブラ宮殿が建設された。
- 992. スーフィーと呼ばれたイスラーム神秘主義者は神との一体化を目指した。
- 993. イスラーム神秘主義者はインドへのイスラーム教の浸透に寄与した。
- 994. ナーナクはイスラーム教とヒンドゥー教を融合して、シク教を創始した。

§ 15: テーマ関連史

- 995. 北京郊外で発見された北京原人は、火を使用した。
- 996. 20 万年前にネアンデルタール人が出現した。
- 997. 9000 年前頃に氷河期が終わり、気候が温暖化した。
- 998. 約 9000 年前ころから、新石器時代が始まった。
- 999. 5000 年前頃から青銅器時代が始まった。
- 1000. 前 3500 頃から古代文明は生まれた。